

公表:平成30年12月19日

事業者名: 児童発達支援・放課後等デイサービスもなか

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3	0	・適切である。活動によりスペースを分けている。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	3	0	・適切である。活動内容によってはプラスして補強している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	2	2	・適切になされているが、より望ましくはトイレ前の段差等工夫して改善を図る。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	0	0	・基本的に行なっている。さらに、主体的に参加できるように意識改革をする。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	3	0	・継続的に改善を図っていく。改善に向けての職員間の共通認識を強める。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	0	3	1	・12月公開予定。(まず、自己評価の保護者への還元と改善計画に反映することが大切)
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	2	2	・第三者の外部評価は、形ややり方を含めて検討課題。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	0	3	1	・状況に対応して実施。関連機関(学校等)における研修等を実施している。4月以降は、研修の機会がより増える予定。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	3	0	・作成している。ニーズや課題の職員間の共通理解をさらに深める。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	1	・アセスメントツールを使用しているが、子どもの実態や課題分かりやすく、書きやすいものに見直しも検討したい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2	0	・立案担当者が立案。(他の職員の情報を得ながら)
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	・「遊びの日」や屋外学習等子どもの実態や課題、保護者の意向等踏まえながら計画している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	3	0	・重点的な課題(個別支援計画に基づく)に対して支援をしているが十分とはいえない。改善の余地がある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	3	0	・全体の活動の中に組み込み実施。個別の宿題への対応等個別に実施したり、その時々利用者の状態や課題と関わって個別に対応したりしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1	0	・十分ではないが、紙ベースや口頭等で必要なことは確認している。(職員用の連絡ノートも活用)

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	・実施している。利用者の送りの後その日の全体的な確認や翌日等の確認し共有をしている。
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	2	0	・指導員の記録ノートは活用している。利用者の記録も毎日の報告などに記入しているが、徹底することや検証(日々の実践の)や改善を深める課題あり。
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	・定期的なモニタリングは実施。常にサービスの見直し(個別支援計画への反映が必要)につなげる。
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	0	4	0	・ガイドラインを十分に理解するところまで行っていないので、早急に研修する必要がある。(日頃の支援と関連させて)。
関係機関や保護者との連携	⑩⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	2	0	・参画している。その時々資料を綴じて活用を図るようにしている。 ・参加の機会を活用していきたい。
	⑩㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	1	0	・学校との情報交換や児童・生徒の実態や課題等に対しても連絡しあっている。学校公開や連絡会等も積極的に参加して共通理解を図るようにしている。支援の課題や「問題行動」に対しても非常に連携が大切である。
	⑩㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	0	・医療的ケアの対象者がいないが医療との連携も重要であることは認識している。直接的に医療的ケアの対象者がいなくても、肥満や身体の使い方などで配慮したほうが良い子のケースも話し合っている。
	⑩㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	0	・必要なことである。資料や口頭で直接引き継ぎ等を行なっている。
	⑩㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	0	・ケースが発生した場合でも情報を提供できるように用意をしている。
	⑩㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	4	0	・必要に応じて情報交換等している。研修をやりたいが十分にはできていない。ぜひ機会を設けたい。
	⑩㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	4	0	・直接的、集団的な交流は今のところない。公園や屋外での施設等で活動も触れ合え、広義の意味での交流にも位置付けている。
	⑩㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	1	・参加の機会があるときに参加し情報を共有しあうことが大切である。
	⑩㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	1	1	・共通理解をもてるように連絡帳、ノートを活用したり送迎時等に話したりして日頃ももてるように努力しているが、いっそう充実していく必要がある。
	⑩㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	3	1	・面談等を活用し保護者も意識改革に繋がるように活用している。普段の保護者との情報交換や子どもの話を気軽に言い合えるようになることもペアレント・トレーニングになる。そういう場も活用したい。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1	0	・保護者の利用開始時やホームページ等を活用して随時、説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	2	0	・いろいろな機会を捉えて必要な助言や支援を行なうようにしている。 ・保護者からも要望があり助言や支援をいろいろな機会、場を設けて広げていくことである。どのように進めていくか課題でもある。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	3	1	・保護者が知り合え、情報を交流しあえる場を設けるようにしている。屋外で職員と子どもたちやその家族などでの交流も企画、実施されたが有意義なものであった。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	・苦情に対しての対応は、迅速、適切に対応している。時間を置かないで十分に保護者の理解と納得が得られるようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	2	1	・ホームページ、ブログを活用している。必要な情報を保護者と共有するようにしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	3	1	0	・紙ベースを含めて注意して管理している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	2	0	・配慮するように日々心がけ、努力している。意思疎通や情報伝達は施設の寄って立つ基盤でもある。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	2	・相対的な重点には、現在のところない。予定はない。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	2	2	・作成をしているが、周知徹底するところまではいっていない。早急に対応する。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	0	2	2	・非常災害の発生を想定して、実地踏査を終え来年度の計画で訓練の具現化を図る予定。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	0	3	1	・虐待防止(法)関連の資料を作成済みなので職員の共通理解を進めるための研修の機会を設ける。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0	3	1	・拘束がやむを得ないときの対応内容や方法のマニュアル一覧表を作成し、保護者の契約時にお知らせ、配布する。サービス計画の中に記載する(対象とする子どもに対して)
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	3	1	・現時点では、対象者がいない。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0	4	0	・記録にファイルして共有資料としている。